

平成14年度

本校の指導の方針

(1)「総合的な学習の時間」の目標について

生徒が身の回りの事象に目を向け、自己や仲間を高めるために必要な課題を、自らの力で見付け、自分で考え、追究していけるように、さまざまな場を通して、指導を行っていくこととする。

本校では、自己課題追究学習だけでなく、福祉・奉仕活動等のさまざまな活動の場を通して、指導を行っていくこととする。

(2)「総合的な学習」の内容と時間配分について

<体験的テーマ追究型> ——— みどりタイム

・全校あるいは学年みんなでさまざまな活動を体験しながら、課題を追究をしていく時間

*福祉・奉仕の心を育てるための課題追究・・・福祉体験・奉仕体験を通して、その意味を理解しながら、意欲的に参加する心を育てるための追究

ふれあいタイム・・・全校、あるいは学年単位で、福祉体験や奉仕体験をしたり、講演を聞いたりすることを通して、福祉、奉仕について知り、様々な人とのふれあいを大切に、その心を育てる場としていく

第1回、第2回は、全校単位での体験学習、第3回は、学年単位で、講演会や奉仕活動などを行なう。

奉仕活動等(3年生)・・・3年間生活学習した学校や地域への感謝の心を奉仕活動等の形で表していく場としていく

<学習的テーマ追究型> ——— ポプラタイム

・全校テーマ「関市の今、これからの関市」について生徒一人一人が自己課題を追究する場

*全校テーマ「関市の今、これからの関市について」

自分たちの身のまわりに目を向けさせ、自ら課題を見付け、考え、追究させていく。

3年生で「自分の主張・提言をもつことを指導する」ことをめざし、学年ごとのねらいに従い、自己課題追究をさせていく。

その際、共通理解しておきたいことは、次のことである。

- ・自分たちの身のまわりに目をむけさせながら、学年が進むにつれ、広がりをもたせた追究になってもよいこと。
- ・課題追究をさせる際、「人との関わり」を重視して取り組ませていくこと。
- ・生徒へのオリエンテーションできちんとねらいやテーマについて理解させた上で取り組ませていくこと。

みどりタイムとポプラタイムの活動が関わり合い、充実するように道德の時間を位置付ける。